

普及現地情報



発信年月日:令和6年(2024年)12月20日
所属名:大津・南部農産普及課
番号:A24014
発信者名:河村、宇野、新谷、北川

スクミリンゴガイ防除対策研修会を開催しました

令和6年12月5日、JA レーク滋賀中主営農経済センターにおいて、湖南地域でスクミリンゴガイ(通称ジャンボタニシ)が発生している地域の農業者を対象に、スクミリンゴガイ防除対策研修会を開催しました。当日は関係機関を含めて47名の参加がありました。

近年の温暖化に伴い、スクミリンゴガイの発生量の増加や新たに発生地域が拡大していることから、地域ぐるみの防除対策が急務となっています。一層の拡大を防止するために、防除技術の知識を今一度深めることを目的とし研修会を開催しました。研修会では、病害虫防除所より「スクミリンゴガイの生態と基本的な防除法」について説明を受け、当課より「自作捕獲トラップの実証結果」について報告しました。

農業者からは、近隣の被害の発生状況などの質問や、「対策を行うと確実に被害が減少するが、対策に手を抜くと途端に元に戻ってしまう。初心に立ち返り基本技術を実践する。」などの貴重な意見もありました。また、自作捕獲トラップに対する反響も多く「来年試しに作ってみる。設置に対する注意点は？」など研修終了後には自作捕獲トラップを実際に手に取り、熱心に質問されていました。今後も、当課は関係機関と連携しスクミリンゴガイの防除対策を進めていきます。



防除対策研修会



自作捕獲トラップの調査風景